



2016 パラリンピック・ゲームズ

トーナメント・クレジット

2007年7月1日に発効したPTT(パラ・テニス)からITTFへの正式な移行の開始に伴い、ITTFおよびその連合にとって、障害を持つ選手の統合が当面の目標となってきました。これに競技構造の範囲内で取り組んできていますが、同時開催される健常者の大会とPTT大会双方の論理的制約を主な理由として、平行システムの運用が行われてきました。この平行システムにおいては、障害を持つ選手が、PTTの大会だけではなく、健常者の大会に参加することができるというプロモーション的な側面が認められています。長い間、PTT選手のうち少数のみがITTFワールドツアー大会に参加してきていますが、これらの選手が現在のような形の参加を通して行うPTT大会のプロモーションは軽視されるのではなく、むしろ奨励されるべきであると考えられます。

上記を勘案し、PTT部門では、2016リオ・パラリンピック・ゲームズのトーナメント・クレジットを得るためとして、障害を持つ選手が参加するITTFワールドツアー大会を認めることを決定しました。これは2014年7月1日に発効します。以下に次の大会に参加する場合のトーナメント・クレジットについて述べます。

- PTT大会の4日以内に開催されるワールドツアー大会では、そのPTT大会の最大トーナメント・クレジット・ポイントが累積されます。たとえば、ITTF韓国オープンに参加し、同時に、または4日以内にPTT Copa Tangoに参加する選手は、20ポイントを取得します。また、選手がITTFカタール・オープンに参加し、同時に、または4日以内にPTTスロバキア・オープンに参加する場合、その選手は40ポイントを取得します。(注:これらは過去に開催された大会を例にあげて説明しています)。
- PTT大会の4日以内に開催されるジュニア・サーキット大会に参加する選手は、そのPTT大会のレーティング要素に関係なく10ポイントが累積されます。
- PTT大陸大会の4日以内に開催される大陸大会では、50ポイントが累積されます。ただし、連続開催の(同じ都市でほぼ同じ日に計画される)ITTFおよびPTTの大陸大会の両方に参加する場合、PTT大陸選手権に参加する場合のみ50ポイント累積されます。
- PTT大会と同時か4日以内に開催されないワールドツアー大会またはジュニア・サーキット大会の場合、各大会につき選手は10トーナメント・ポイントを累積します。
- 所属する大陸以外のPTT大会と同時か4日以内に開催されるITTF大会では、選手は追加のトーナメント・クレジット・ポイントを得ることはできません。
- 所属する大陸以外のPTT大会と同時か4日以内に開催されないITTF大会では、選手は追加のトーナメント・クレジット・ポイントを得ることはできません。

ワールドツアーおよびサーキット大会は下記のサイトで公開されています。

http://www.ittf.com/front_page/ittf2.asp?category=pt_calendar.

ワールドツアー大会にのみ参加している選手は、PTTレーティング・システムでは無効とされているかもしれませんが、これは、その選手が世界選手権および/またはパラリンピック・ゲームズで戦う能力に実質的に影響を与える可能性があります。また、その選手のレーティングはシード決定の目的においても正確ではないものとなります。

このことに関してご質問がある場合には、セレクション・オフィサーである nico.verspeelt@skynet.be にご連絡ください。ご質問がある場合には必ず、セレクション・オフィサーに連絡してその問題をできるだけ早く解決するようにしてください。2016年1月15日以降、この問題については対応が行われません。